

NPO法人「心音(こころね)」主催の夏休み学習塾が17、23日の日程で、和泊町のえらぶ長浜館で開かれている。島内の小1〜中3の児童生徒34人が参加。島で職業体験をしている島キャンの大学生らの指導のもと、夏休みの宿題などの学習に励んでいる。

共働きや父子・母子家庭など、主に若い世帯が夏休み期間中、安心して子どもを預けられる場所の提供や、子どもたち一人一人に合った学習の支援などを目的に開いている。

一般財団法人九電みらい財団の助成事業を活用。受講無料で昼食も用意されるため、参加者やその保護者から好評だ。同NPOの安徳建二理事長は「沖水良部島は学校以外で学ぶ場所や、子どもたちと

## NPO心音主催 島キャン大学生ら講師

# 夏休みに学びの場提供



大学生らを講師に、子どもたちが学習に励んでいる夏休み学習塾＝20日、和泊町

期間中は午前10時から午後3時まで、学習のほか、レクリエーションの時間も設け、東京都のミュージシャン、大友剛さんによるコンサートや書道教室も実施。「西郷さんを学ぶ歴史散策」も予定している。

広島から島キャンで来島した大宮真琴さん(22)は「年上が年下の子をしっかりと見ていて、下の子たちも慕っており、都市部と比べて子ども同士の距離感が近いと感じた。元気な子が多く、癒やされている」と笑顔。

知名町下平川小3年の岸田紗弥花さん(8)は「夏休みの宿題などを頑張ってる。大学生のお姉ちゃんたちは優しい」と話していた。

(沖水良部総局)

大学生が触れ合う機会も少ないため、そうした場の提供が一番の目的。子ども食堂の要る素を兼ねており、親が仕事で

日中は家を空けている家庭の子たちの居場所づくりにもなればとの思いで取り組んでいる」と話した。